

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 23 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：特定高齢者を対象とした歯科診療所における口腔機能向上のサービスの効果に関する調査研究事業</p>
<p>2. 申請者名：社団法人 広島市歯科医師会 会長 土江健也</p>
<p>3. 実施組織：社団法人 広島市歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>特定高齢者（二次予防事業対象者）が参加することが望ましい介護予防プログラムにおいて、口腔機能向上に該当する特定高齢者は多いが、口腔機能向上サービスへの参加者は少ないのが現状である。そこで、広島市においては歯科診療所を事業実施場所として追加し、その対応をしている。本事業では地域の歯科診療所と地域包括支援センターが連携して口腔機能向上サービスの推進を図るとともに、口腔の専門職である歯科医療従事者が口腔を評価しサービスを実施した効果を検証した。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 平成 23 年 8 月 3 日：地域包括支援センター運営協議会委員意見交換会の開催</li><li>2) 平成 23 年 8 月 31 日：地域包括支援センター職員を対象とした研修会及び意見交換会の開催<ol style="list-style-type: none"><li>①演題 「高齢社会に向けた歯科医師会の取り組み」 講師 荒谷恭史広島市歯科医師会公衆衛生部理事</li><li>②演題 「歯科医院での口腔機能向上サービスの実際」 講師 上川克己広島県歯科医師会公衆衛生部副委員長</li></ol></li><li>3) 歯科診療所での口腔機能向上のサービスの実施</li><li>4) 口腔機能向上のサービスの実績のあった歯科診療所に調査票を送付し、口腔ケアアセスメント票とともに回収し、事業の効果を検証し、報告書作成</li><li>5) 作成された報告書を地域包括支援センター等に配布</li></ol>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>特定高齢者を対象として歯科診療所で実施した口腔機能向上のサービスの効果は、高齢者の「食べるたのしみ」の実現に向けて十分に期待できるものであり、口腔の専門職である歯科医師や歯科衛生士がサービスに適切に関わることの重要性が示唆された。さらに、歯科治療と同時に口腔機能向上のサービスを実施した場合は、相乗的な効果が期待できるものと考えられた。一方、本事業において、地域包括支援センターと連携してサービスを実施している歯科診療所は限定される傾向があった。</p> <p>今後、地域包括ケアを推進するうえで医療と介護の連携は重要な課題であるが、地域包括支援センター職員や介護支援専門員等の介護関係者にとって医療機関は「敷居が高い」ことから、医療機関側から介護関係者への積極的な働きかけが必要である。</p> <p>本事業の成果を踏まえ、高齢者の口腔機能向上のサービスが一層活発に実施されることを期待する。</p>